

篠原武先生 最終講義のご案内

講義題目： 「検索から推論，そしてまた検索」

日 時：平成三十年三月九日（金）午後二時四十分～午後四時十分

場 所：九州工業大学情報工学部（飯塚キャンパス）総合研究棟5階大学院セミナー室

この度、九州工業大学教授篠原武先生におかれましては、来たる平成三十年三月三十一日をもって、定年退職されることとなりました。

篠原先生は、昭和五十五年京都大学理学部をご卒業後、昭和五十七年に九州大学大学院総合理工学研究科修士課程ご修了を経て、同年九州大学大型計算機センター助手、昭和六十二年より九州工業大学情報工学部助教授、平成六年より本学教授として今日に至るまで研究・教育にご尽力されてこられました。

先生は、あらゆる情報学の基盤である推論と検索という二つのテーマを追及されました。推論と検索は、人間の能力を超える人工知能が登場しようとしている現代においても依然として情報技術の核であり、そのテーマに初期の段階から取り組まれた先生の卓越した先見性に感じ入ります。また、先生は常々理論と実践の両立という理念に基づいて研究に取り組んでこられました。その結果、正例からの帰納推論に関する重要な結果をはじめ、その理論を応用したアミノ酸配列からの知識獲得システムなどの成果を上げられました。先生は検索についても精力的に研究され、文献情報検索システム、テキストデータベース管理システムなど様々なデータベースを開発されました。また、先生の御研究の一つである圧縮データ上のパターン照合は、その後の圧縮情報処理に繋がる最初の研究といえます。先生は教授職着任後も意欲的に新しい研究テーマを開拓され、現在はマルチメディアデータベースのための効率的な空間検索の開発に学生とともに取り組んでおられます。

篠原先生は、教育や社会貢献にも献身的に取り組んでこられました。特に、日本初の情報工学部の創設にご尽力され、本学はこれまでに優秀な卒業生を社会に輩出してまいりました。先生の教育理念はご自身の研究と密接に結びついたものが多く、例えば計算論的学習理論に関する国際会議の設立に中心メンバーとして参画され、本会議は現在も理論計算機科学の研究者に刺激的な発表の場を提供しています。また、先生の薫陶を受けた学生が国際的にも活躍していることは、皆様ご存知のとおりです。

この度、本学及び情報学において重要な足跡を残された篠原先生のご退職にあたり、先生の歩んで来られた道やこれからの指針を後進に伝えていただきたく、教職員一同として、表記の通り、先生に最終講義をお願いいたしました。ご多用中恐縮ではございますが、万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようお願い申し上げます。

平成三十年一月

九州工業大学大学院情報工学研究院
知能情報工学研究系

系長 坂本比呂志